

令和6年度 三股町立三股中学校 学校評価書

4段階評価 4 期待以上(75%~100%) 3 ほぼ期待どおり(50%~74%) 2 やや期待を下回る(25%~49%) 1 改善を要する(0%~24%)

【学校の教育目標】 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成

評価項目	評価指標	具体的数値目標と達成状況	方策・手立て	各評価(令和5年度)				各評価(令和6年度)				自己評価	結果の考察・分析及び改善策等	評価員	評議員コメント	
				教師	生徒	保護者	指標別	教師	生徒	保護者	指標別					総合
1	確かな学力の育成	「わかる・できる」授業の構築	生徒・保護者・職員の授業評価結果3以上	○「みまたんモデル」・「ひなたの学び」の推進 ○ 主題研に係る一人一授業とICT教育の推進 ○ 学校訪問を通じた授業力向上	3.0	3.3	3.3	3.2	3.0	3.4	3.3	3.2	3	○授業改善では、「みまたん学習モデル」と「ひなたの学び(ひとりひとりが問をもち なかまとなって学びあい たかめよう深く考える力)」を兼ね備えた指導案を作成して各教科で実践した。ICTの効果的な活用と主体的・対話的な学びを意識した授業改善を行うことができた。 ○家庭学習の在り方については、昨年度に引き続き課題が見られる。授業で学んだ内容を家庭学習で定着させることが基本である。「家庭学習の手引き」「定期テストに向けた取り組み表」の活用を充実させていきたい。 ○生徒の読書量が減っているのは、9月中旬から朝自習を廃止して読書を行わなくなったためと思われる。図書支援員と連携を図り、図書館の利用や貸出の充実を図りたい。国語科と協力しながら読書教育の推進を図りたい。	3	○生徒の授業評価が前年度より上がっている。教師の指導案検討、授業改善への取組の成果ではないが、授業での板書をノートに写すこととタブレット使用の効果的な活用をお願いしたい。 ○家庭学習の評価が生徒・保護者共に前年度より下がっている。キャリア教育を充実させ、自己実現に向けて学習意欲を向上させたい。 ○三股町主催の読書感想文への応募が、かなり減少している。読書感想文の提出を夏休み中の読書に限定せずに、年間を通して読んだ本や教科書等の書物も含めた感想文にして、応募を増やしてほしい。
		家庭学習の充実	学力・実力テストの結果 地区・県平均以上	○「家庭学習の手引き」の周知と活用 ○ 復習課題の工夫・宅習時間の確保	1.9	2.7	2.4	2.3	2.0	2.6	2.2	2.3				
		読書活動の推進と読書量アップ	読書冊数 一人年間20冊	○ 図書室からの広報活動の実施	2.2	2.6	2.2	2.3	2.2	2.4	2.1	2.2				
2	心の教育の充実	文教のまち三股の伝統教育の推進	保護者・生徒・教員のアンケート結果3以上	○ あいさつ・校門での一礼の実施 ○ 無言清掃の実施 ○ 自主的・自発的な生徒会活動の活性化	2.8	3.4	3.2	3.1	3.1	3.4	3.2	3.1	3	○昨年度より教師の評価結果が高いのは、評価アンケートの内容を変更したためと考える。令和5年度は、生徒会活動についてのアンケート内容であったが、今年度は「方策・手立て」の項目をアンケート内容にした。今後も伝統教育を推進していきたい。 ○いじめ防止対策・不登校生徒等への対応については、町教委(適応指導教室)との連携により充実している。12月の不登校生を統計から見ると、1年生5名(1.5%)、2年生9名(2.8%)、3年生19名(6.0%)である。昨年度より統計結果は改善しているが、学年が上がるとつれて増えている実態は同じである。校内適応教室についても町教委と連携して調整していきたい。 ○「正しい人権感覚の育成」は今年度の学校重点指導項目である。人を傷つける言葉を減らし、より良い人間関係を築くための言葉である「サツキ言葉」を学校全体に広げるために、生徒会や学年生徒会等で積極的に取り組んでおり、学校全体で意識が高まっている。現在の取り組みをさらに工夫・改善しながら継続していきたい。		
		いじめ防止対策・不登校生徒等への対応	不登校率3.5%以下	○ いじめ防止基本方針の定着 ○ 月に1度のいじめアンケートの実施 ○ 教育相談アンケートと相談の充実	/	/	/	/	/	/	/	/				
		思いやりの心の育成	保護者・生徒のアンケート結果3以上	○ 合理的な配慮を考慮した特別支援教育の充実 ○ 全教育活動を通じた道徳教育・人権教育の充実 ○ 言語環境の整備と言語活動の充実	2.8	3.3	3.3	3.1	2.7	3.3	3.3	3.1				
3	健康安全と体力の向上	交通安全指導や安全点検の徹底	保護者・生徒・職員のアンケート結果3以上	○ 通学路の安全確認・登下校指導 ○ 安全点検や授業、部活動でのケガ予防	2.1	3.7	2.9	2.9	2.0	3.8	3.1	2.9	3	○生徒・保護者の交通ルールの遵守についての評価は高いが、職員の評価は低い。しかし、地域からの交通安全に関する苦情の連絡は依然として多い。生徒には、具体的な課題を示しているが、実態と生徒の評価結果には差があるように感じている。来年度評価の際に、生徒への質問内容変更について協議したい。保護者の学級役員が実施している登校指導を充実させていきたい。 ○アンケート内容は、SNS等の使用についてである。生徒と教師の評価結果に大きな違いがある。ほとんどの生徒は、SNSを正しく利用していると思われるが、SNSによるトラブルは依然として多いのが現状である。情報モラル教育等を工夫・改善していきたい。 ○本校は、2年連続で体力づくり優良校で表彰されている。体育の授業や部活動等での体力向上をさらに充実させていきたい。部活動の休養日については、年間を通じて計画されている。弁当の日を起点とした食育については、充実した活動となっている。		
		危機管理意識の高揚	保護者・生徒のアンケート結果3以上	○ 予告なしの避難訓練の実施・防災教育の実施 ○ SNS普及の対応と、情報モラル教育の充実 ○ 感染症対策等の充実	2.7	3.8	3.3	3.3	2.4	3.9	3.3	3.2				
		主体的な体力向上や健康意識の育成	保護者・生徒・職員のアンケート結果3以上	○ 立腰指導 ○ 栄養教諭と連携した「弁当の日」の実施 ○ 部活動における休養日の推進	3.3	3.2	3.1	3.2	3.1	3.3	3.0	3.1				
4	家庭・地域との連携	地域と共にある学校づくり	保護者・職員からの評価3以上	○ 学校ホームページの内容充実 ○ 各種通信などによる情報提供の充実	3.4	/	3.3	3.4	3.2	/	3.3	3.2	3	○地域と共にある学校づくりについては、町教委や役場、文化会館等の協力を得て、構築しやすい環境にある。現状を鑑みながら各関係団体との連携について再考していきたい。HPによる情報発信、学校長の学校通信をはじめ、学年・学級通信は大変充実している。 ○コロナ禍後で多くの行事等が復活し、参観日に加え体育大会や合唱コンクール等、開かれた学校づくりに努めた。働き方改革や学校のスリム化等を考慮しながらも家庭・地域との信頼関係を充実させた。		
		家庭・地域との信頼関係の構築	保護者・職員のアンケート結果3以上	○ 魅力ある学校参観日の計画と運営 ○ 「あんしんメール」の登録推進と内容充実 ○ 保護者等と学校の連絡体制の確立	3.4	2.6	3.1	3.0	3.3	2.4	3.2	3.0				